

理事 長 賞

水がきれいになるまで

木村 朱利

小郡市立 大原小学校

わたしは、社会科見学で宝満川浄化センターに行きどうやって水をきれいにするかを学びました。

まずは下水道についてです。下水道はどんな役割をしているかという、家庭や工場から出るよごれた水や雨水を処理場に集めそこで水をきれいにして川や海にもどす役割があります。

次にどうやって水をきれいにしているかについてです。よごれた水は、下水道管を通って下水処理場に集められます。下水処理場では最初によごれた水の中にふくまれている大きなごみや砂をはずめて取りのぞきます。そこから、よごれた水をゆるやかに流して小さなごみをはずめます。

次に登場するのが「活性くん」です。活性くんは水の中のをよごれを取ってくれる微生物です。微生物のはいったどろを下水にまぜ、空気を送りながらかきまぜます。微生物がよごれを食べたり、体にくっついたりして、六時間から八時間くらいかけて下水をきれいにします。よごれを食べて重くなった微生物がはずみ、きれいになった水を消毒する場所に送ります。消毒をしてよごれが取りのぞかれてきれいにされた水を川や海に流しています。

しかし下水道は何でもきれいにできるわけではありません。微生物に悪いえいきょうをあたる油などを流してしまうと、微生物が弱ってしまいます。だからあらい物をする時は油はキッチンペーパーでふ

き取ってもえるごみに出し、できるだけ油を下水に流さないようにしましょう。油以外にも下水に流してはいけない物を自分なりに調べてみました。下水に流してはいけない物は次のとおりです。ごみ、オムツ、ティッシュ、布、ゴムなど水にとけない物などです。これらを下水に流してしまうと水道管が詰まってしまいますので浄化センターの方達のためにも、家庭でも水をよごさない努力をしていこうと思います。

宝満川浄化センターを見学して、いつも水道からきれいな水が出るのは浄化センターの方達が毎日水を守ってくれているおかげという事が分かりました。これからは下水に油など流さないよう注意し、水を使う時に出しっぱなしにせずすぐ止めるなど、水を大切に使用していきたいです。